

平成30年4月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成29年9月8日

上場会社名 フリービット株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3843 URL http://www.freebit.com/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 田中 伸明  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員グループ経営管理本部長 (氏名) 和田 育子 TEL 03-5459-0522  
 四半期報告書提出予定日 平成29年9月11日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年4月期第1四半期の連結業績（平成29年5月1日～平成29年7月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年4月期第1四半期	9,444	2.6	244	△54.2	11	△96.9	△306	-
29年4月期第1四半期	9,209	43.4	534	41.9	371	41.6	104	△17.8

(注) 包括利益 30年4月期第1四半期 △270百万円 (-%) 29年4月期第1四半期 197百万円 (△2.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年4月期第1四半期	△13.81	-
29年4月期第1四半期	4.71	4.71

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年4月期第1四半期	25,444	10,801	36.1
29年4月期	25,597	11,251	37.7

(参考) 自己資本 30年4月期第1四半期 9,182百万円 29年4月期 9,648百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年4月期	-	0.00	-	7.00	7.00
30年4月期	-	-	-	-	-
30年4月期（予想）	-	0.00	-	7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成30年4月期の連結業績予想（平成29年5月1日～平成30年4月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	40,000	13.6	2,000	51.4	1,900	135.3	100	-	4.51

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社は年次での業務管理を行っておりますので、第2四半期（累計）の連結業績予想の記載を省略しております。詳細は、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	30年4月期1Q	23,414,000株	29年4月期	23,414,000株
② 期末自己株式数	30年4月期1Q	1,218,800株	29年4月期	1,218,800株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	30年4月期1Q	22,195,200株	29年4月期1Q	22,195,200株

※ 四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P. 4「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料及び四半期決算の概要説明の入手若しくは閲覧の方法）

- ・ 四半期決算補足説明資料は、TDnetで同日開示を行うとともに当社ウェブサイトにも掲載する予定です。
- ・ 四半期決算の概要説明は、その記録動画を当社ウェブサイトに速やかに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において、当社グループ（当社及び当社の関係会社）が判断したものであります。

「経営成績に関する説明」において使用する名称の正式名称及びその説明は、下記のとおりであります。

使用名称	正式名称	説明
DTI	株式会社ドリーム・トレイン・インターネット	当社連結子会社
トーンモバイル	トーンモバイル株式会社	カルチュア・コンビニエンス・クラブ株式会社との合弁会社で、当社持分法適用関連会社
フルスピード	株式会社フルスピード	当社連結子会社
フォーイット	株式会社フォーイット	当社連結子会社
フリービットEPARKヘルスケア	株式会社フリービットEPARKヘルスケア	当社連結子会社
ギガプライズ	株式会社ギガプライズ	当社連結子会社
フォーメンバーズ	株式会社フォーメンバーズ	当社連結子会社
Health Tech	Health Technology	“健康×IT”によりヘルスケア領域に変革を起こし、次世代の健康管理メソッドを創出していくもの
IoT	Internet of Things	モノに通信機能を持たせてモノ同士が相互通信することにより、ヒトが介在することなく自動認識や自動制御などが行える仕組み
不動産Tech	Real Estate Technology	“不動産×IT”により不動産業界に新しいサービスの潮流を起こし、ITを用いて不動産関連サービスを進化させていくもの
MVNO	Mobile Virtual Network Operator	仮想移動体通信事業者
MVNE	Mobile Virtual Network Enabler	MVNOの支援事業者
SIM	Subscriber Identity Module	モバイル端末でデータ通信や音声通話などを行うために必要なICチップカード
アドテクノロジー	Ad Technology	「テクノロジーを駆使した広告」の総称で主にインターネット広告における配信技術や広告流通の技術のこと
アドネットワーク	Ad Network	インターネットメディアへの広告配信を効率的に行うシステム
アフィリエイト	Affiliate Marketing	Webページ等の広告を経由して、広告主のサイトで会員登録や商品購入をした場合にリンク元の媒体運営者へ報酬が支払われる仕組み
ICT	Information and Communication Technology	情報通信技術
SNS	Social Networking Service	インターネットを利用して社会的ネットワークを構築可能にするサービス
光コラボ	光コラボレーションモデル	NTT東西が提供するフレッツ光の卸サービス
クラウド	Cloud Computing	ソフトウェア等をネットワーク越しに利用者に提供する仕組みやそのデータが蓄積・運用されているデータセンター及びサーバー群の総称
パブリッククラウド	Public Cloud	クラウドのうち、インターネットから誰でも利用できるようなサービスやシステム
プライベートクラウド	Private Cloud	クラウドのうち、大企業などが自社ネットワーク上で利用するためのサービスやシステム
ハイブリッドクラウド	Hybrid Cloud	パブリッククラウドとプライベートクラウドを組み合わせたもの
IaaS	Infrastructure as a Service	サーバー機材や回線といったインフラを、インターネットを介して提供するサービス

当社グループは、中期事業方針『SiLK VISION 2020』を掲げ、2020年(平成32年)4月期に連結売上高500億円、連結営業利益50億円の達成を目指し、「成長領域に注力した新分野への進出と継続的發展」を図っていくとの戦略のもと、モバイル事業・アドテクノロジー事業の継続成長及び生活領域(“Health Tech”、“IoT”、“不動産Tech”)の中長期での事業拡大に努めており、当第1四半期連結累計期間においても同方針に則り推進し、継続成長事業の拡大と今後の発展に向けた生活領域の事業育成に注力しました。

継続成長事業の1つと位置付けているモバイル事業では、MVNO市場の拡大が続いていることを受け、当社がMVNEとして提供するMVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」の利用事業者向けSIM発行枚数が増加しました。そして、これに伴い、ネットワーク環境の整備も図りました。DTIでは、MVNOサービス「DTI SIM」の更なるユーザー数拡大を目的に、ユーザーニーズを機敏に捉えた新プラン投入等の施策を講じることで他社との差別化を図りました。トーンモバイルにおいては、ユーザー数拡大を企図したキャンペーン施策を講じたことに加え、次期スマートフォン端末である「TONE m17」の開発に尽力しました。

もう1つの継続成長事業と位置付けているアドテクノロジー事業では、フルスピードがスマートフォン向け動画アドネットワーク事業の拡大を目的に「株式会社カムボード」を設立しました。また、フォーイットでは、アフィリエイトの利用満足度が極めて高いアフィリエイトサービス「afb」の提供やその利便性の向上に取り組んだことが奏功し、事業規模が拡大しました。

新分野である生活領域の各事業については、今後の当社グループ発展の一翼を担うものとするべくその育成に注力しており、“Health Tech”分野においてはフリービットEPARKヘルスケアが、また“IoT”分野においては当社が、そして“不動産Tech”分野においてはギガプライズがそれぞれ中心となり、当社グループの事業リソースを最大限に活かす形で推し進めています。当社グループでは、現段階においてユーザー獲得を最優先事項と位置付けており、それによって蓄積されるユーザーデータベースを競合他社との差別化に活かしていくことが、結果的には市場における絶対的優位性の確立に繋がると捉えています。そのためには、性急な収益化よりもユーザー獲得のための投資を継続していくことが肝要だと認識しています。

以上の結果、売上高は9,444,030千円(前年同四半期比2.6%増)となりました。なお、育成対象の一つである“Health Tech”分野で事業を行うフリービットEPARKヘルスケアが連結対象となったことなどにより、営業利益は244,680千円(前年同四半期比54.2%減)となりました。また、持分法による投資損失231,896千円等により、経常利益は11,574千円(前年同四半期比96.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純損益は306,529千円の損失(前年同四半期は104,573千円の利益)となりました。

セグメント別の業績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結会計期間より、サービスの多様化による事業実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、また、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しています。そのため、前年同四半期との比較については、当第1四半期連結累計期間の区分に基づき行っています。

#### ① ブロードバンド事業

スマートフォンやタブレットといったICT端末の普及に伴って、宅内Wi-Fi環境を通じたネット動画視聴、ゲームをはじめとしたリッチコンテンツやSNSの利用の増加等により固定回線網の帯域費用は増加したものの、他のコスト減や集合住宅向けインターネットサービスが順調に拡大したことに加え、「光コラボ」関連サービスによるユーザー獲得数が堅調な動きとなりました。

以上の結果、売上高は2,799,198千円(前年同四半期比14.5%増)、セグメント利益は486,198千円(前年同四半期比17.1%増)となりました。

#### ② モバイル事業

当社グループがMVNEとして提供するMVNO支援パッケージサービス「freebit MVNO Pack」の利用事業者による獲得エンドユーザー数が着実に推移しました。また、MVNOとして提供する「DTI SIM」においては、顧客ニーズに合わせた新プランの投入等を講じることで競合他社との差別化を図り、更なるユーザー獲得に努めました。

なお、前年同四半期にはトーンモバイルへの専用スマートフォン端末納入が一時要因として含まれていたため、売上高は2,103,693千円(前年同四半期比13.3%減)、セグメント損失は188,219千円(前年同四半期は7,116千円のセグメント利益)となりました。

## ③ アドテクノロジー事業

独自のアドテクノロジー関連サービスである広告運用統合プラットフォーム「ADMATRIX DSP」やスマートフォン向け動画アドネットワーク「PolymorphicAds」等の提供に注力し、また、インターネットマーケティング関連のサービスにおいても、既存サービスの拡大に加えてSNS等の運用広告サービスの提供を積極的に展開しました。また、アフィリエイトサービスにおいては、得意とする業界だけの伸長に止まらず、その他の業界での提供も順調に広がったことで、引き続き、事業規模並びに収益規模が拡大しました。

以上の結果、売上高は3,946,160千円(前年同四半期比0.4%増)、セグメント利益は358,365千円(前年同四半期比52.9%増)となりました。

## ④ クラウド事業

パブリッククラウドサービス及びプライベートクラウドサービス、そしてそれを組み合わせたハイブリッドクラウドサービスの拡販を継続するとともに、IaaS型パブリッククラウドサービス「ClearBox Cloud」、クラウド型スパコンサービス「freebit cloud HANABI」といった新たなプロダクトを投入する一方で、システムの整備・改善とレガシーサービスの淘汰を図りました。

以上の結果、売上高は450,842千円(前年同四半期比7.2%減)、セグメント損失は1,578千円(前年同四半期は53,775千円のセグメント利益)となりました。

## ⑤ ヘルステック事業

当社グループの有する技術力や事業リソースを活かした事業拡大が見込める薬局向けソリューションサービスの提供を目的に、前連結会計年度よりフリービットEPARKヘルスケアを連結子会社化した結果、売上高が181,603千円、セグメント損失が196,993千円となりました。

なお、フリービットEPARKヘルスケアの連結子会社化が前第2四半期連結会計期間末であったため、その実績比較は行っていません。

## セグメント別売上高及びセグメント損益

(単位：千円)

区分	売上高	セグメント利益 又は損失(△)
ブロードバンド事業	2,799,198	486,198
モバイル事業	2,103,693	△188,219
アドテクノロジー事業	3,946,160	358,365
クラウド事業	450,842	△1,578
ヘルステック事業	181,603	△196,993
その他	61,769	6,924
調整額	△99,236	△220,017
合計	9,444,030	244,680

## (2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は25,444,739千円となり、前連結会計年度末と比べて152,529千円減少しました。これは主として、受取手形及び売掛金が480,258千円、商品及び製品が234,738千円増加したものの、現金及び預金が752,628千円及びのれんが197,905千円減少したことによるものです。

負債は14,643,170千円となり、前連結会計年度末と比べて297,160千円増加しました。これは主として、未払金が690,703千円減少したものの、短期借入金が838,500千円増加したことによるものです。

純資産は、利益剰余金が減少したこと等により、前連結会計年度末と比べて449,690千円減少の10,801,568千円となり、この結果、自己資本比率は36.1%となりました。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年4月期の通期の連結業績予想につきましては、当第1四半期の業績が概ね想定通り推移しているため、平成29年6月9日に公表しました数値から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	10,249,153	9,496,524
受取手形及び売掛金	4,226,776	4,707,035
商品及び製品	202,337	437,076
仕掛品	48,491	70,074
原材料及び貯蔵品	5,055	4,815
その他	2,904,885	2,758,659
貸倒引当金	△222,270	△223,049
流動資産合計	17,414,429	17,251,136
固定資産		
有形固定資産	1,886,317	1,923,624
無形固定資産		
のれん	2,786,516	2,588,610
ソフトウェア	1,261,746	1,301,250
その他	660,593	741,728
無形固定資産合計	4,708,856	4,631,589
投資その他の資産		
投資有価証券	800,240	843,502
差入保証金	461,047	463,075
その他	612,901	606,508
貸倒引当金	△286,524	△274,698
投資その他の資産合計	1,587,664	1,638,388
固定資産合計	8,182,838	8,193,602
資産合計	25,597,268	25,444,739
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	285,866	318,418
短期借入金	911,500	1,750,000
1年内返済予定の長期借入金	989,006	1,000,455
未払金	5,461,641	4,770,937
未払法人税等	344,576	219,182
引当金	264,859	336,145
その他	1,322,329	1,171,235
流動負債合計	9,579,779	9,566,374
固定負債		
社債	2,611,000	2,611,000
長期借入金	961,413	1,073,167
退職給付に係る負債	21,960	23,180
その他	1,171,857	1,369,449
固定負債合計	4,766,230	5,076,796
負債合計	14,346,009	14,643,170

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成29年4月30日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年7月31日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	4,514,185	4,514,185
資本剰余金	3,135,459	3,133,801
利益剰余金	2,760,876	2,298,980
自己株式	△752,710	△752,710
株主資本合計	9,657,810	9,194,257
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△18,460	△18,657
為替換算調整勘定	8,853	6,405
その他の包括利益累計額合計	△9,606	△12,252
新株予約権	1,608	1,608
非支配株主持分	1,601,446	1,617,955
純資産合計	11,251,258	10,801,568
負債純資産合計	25,597,268	25,444,739



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
売上高	9,209,128	9,444,030
売上原価	6,982,181	7,080,544
売上総利益	2,226,947	2,363,485
販売費及び一般管理費	1,692,285	2,118,805
営業利益	534,661	244,680
営業外収益		
受取利息	303	78
受取配当金	1,616	4
債務免除益	—	4,124
還付消費税等	621	5,848
その他	1,049	7,407
営業外収益合計	3,592	17,464
営業外費用		
支払利息	9,540	16,823
持分法による投資損失	134,121	231,896
その他	23,546	1,850
営業外費用合計	167,208	250,570
経常利益	371,045	11,574
特別利益		
投資有価証券売却益	460	—
負ののれん発生益	—	573
特別利益合計	460	573
特別損失		
固定資産除却損	—	1,057
投資有価証券評価損	—	2,092
事務所移転費用	666	—
通信設備除却費用負担金	—	14,425
特別損失合計	666	17,575
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	370,839	△5,428
法人税、住民税及び事業税	113,278	185,955
法人税等調整額	60,352	78,432
法人税等合計	173,631	264,387
四半期純利益又は四半期純損失(△)	197,208	△269,815
非支配株主に帰属する四半期純利益	92,635	36,713
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	104,573	△306,529

(四半期連結包括利益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年5月1日 至平成28年7月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年5月1日 至平成29年7月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	197,208	△269,815
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△3,310	△194
繰延ヘッジ損益	4,971	—
為替換算調整勘定	426	△876
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,082	—
その他の包括利益合計	5	△1,071
四半期包括利益	197,214	△270,887
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,860	△309,174
非支配株主に係る四半期包括利益	87,354	38,287

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年5月1日至平成28年7月31日)  
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド 事業	モバイル事業	アドテクノロジー 事業	クラウド事業	ヘルステック 事業
売上高					
外部顧客への売上高	2,394,812	2,427,315	3,918,685	453,496	—
セグメント間の内部売上高 又は振替高	50,882	338	10,730	32,073	—
計	2,445,694	2,427,653	3,929,416	485,569	—
セグメント利益又は損失(△)	415,150	7,116	234,416	53,775	—

(単位:千円)

	その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結損益 計算書計上額 (注)3
売上高				
外部顧客への売上高	14,818	9,209,128	—	9,209,128
セグメント間の内部売上高 又は振替高	51	94,075	△94,075	—
計	14,869	9,303,204	△94,075	9,209,128
セグメント利益又は損失(△)	△29,605	680,853	△146,192	534,661

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。  
2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△146,192千円には、のれんの償却額△154,595千円及びその他の連結調整額8,403千円が含まれております。  
3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年5月1日至平成29年7月31日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント				
	ブロードバンド事業	モバイル事業	アドテクノロジー事業	クラウド事業	ヘルステック事業
売上高					
外部顧客への売上高	2,753,282	2,101,902	3,940,030	418,183	181,603
セグメント間の内部売上高又は振替高	45,916	1,791	6,129	32,658	—
計	2,799,198	2,103,693	3,946,160	450,842	181,603
セグメント利益又は損失(△)	486,198	△188,219	358,365	△1,578	△196,993

(単位:千円)

	その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 3
売上高				
外部顧客への売上高	49,028	9,444,030	—	9,444,030
セグメント間の内部売上高又は振替高	12,740	99,236	△99,236	—
計	61,769	9,543,267	△99,236	9,444,030
セグメント利益又は損失(△)	6,924	464,697	△220,017	244,680

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり不動産賃貸等を含んでおります。  
 2. セグメント利益又は損失(△)の調整額△220,017千円には、のれんの償却額△220,239千円及びその他の連結調整額221千円が含まれております。  
 3. セグメント利益又は損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、サービスの多様化による実態の変化に合わせ、ブロードバンド事業及びアドテクノロジー事業と区分していた売上及び費用の一部をモバイル事業に、ブロードバンド事業と区分していた売上及び費用の一部をクラウド事業に区分変更しております。なお、前第1四半期連結累計期間のセグメント情報は、当第1四半期連結累計期間の区分に基づき作成したものを開示しております。また、前第3四半期連結会計期間より、薬局向けソリューションサービスを行う株式会社フリービットEPARKヘルスケアを連結の範囲に含め新たな事業を開始したため、報告セグメントとしてヘルステック事業を追加しております。